

大阪市立大学大学院
都市共生社会研究分野
Presents

被災地の現在と今後 逞しく復興に立ち上がっている若者たち

東日本大震災から早1年3ヶ月が経過しました。家を失い、家族も失い、挙げ句の果てに職場を失い、諦めに近い感情を抱きながら気仙沼の地を離れた若者も少なくありません。一方、全国からたくさんの若者がボランティアとして、被災地に休日返上で駆けつけています。こうしたなかで、自分たちの手で復興を成し遂げようと立ち上がった一部の若者達がいることも事実です。いっこうに進まぬ復興に向けた状況にもかかわらず、逞しく復興に立ち上がっている若者も少なくないのです。そんな被災地気仙沼の若者の実情をご紹介いただくなかで、復興と若者について考えていきたいと思い、以下のようなシンポジウムを開催することにしました。お忙しいとは思いますが、ぜひ、ご参加ください。

なお、このプログラムは、大阪市立大学大学院都市共生社会研究分野の入試広報の一環として行うため、シンポジウム終了後、簡単な入試説明会を行います。

- ★日時 2012年7月9日(月)
午後6時30分から9時
- ★場所 大阪市立大学梅田サテライト
大阪駅前第2ビル6階 JR北新地駅真上(地図🗺)
- ★講師 千田 健一 さん
宮城県本吉響高校校長
気仙沼市震災復興会議委員
- ★司会 柏木 宏 大阪市立大学大学院・教授
- ★参加 無料
- ★予約 不要(どなたでもご参加いただけます)

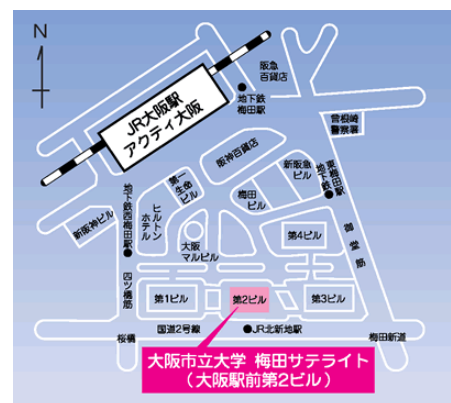
千田健一氏



東日本大震災時、宮城県気仙沼高校で教頭職。同高は、高台にあり被災を免れた。気仙沼高校は市内の復興作業、治安維持のため派遣された自衛隊の受け入れ先や、避難所となった記念館等で避難民の受け入れなどを担当。また、気仙沼市震災復興会議委員のメンバーとして、市全体の復興にかかわる重要な役割を担う。元フェンシング選手で、1980年モスクワ・オリンピックのフェンシング日本代表息子さんの健太さんは今年、7月開催されますロンドン・オリンピックのフェンシング男子代表。

大阪市立大学大学院都市共生社会研究分野

2003年に大阪・梅田に開設された社会人大学院、大阪市立大学創造都市研究科の1分野です。NPOをツールに共生社会の実現に向けて活動する人材育成をめざしています。

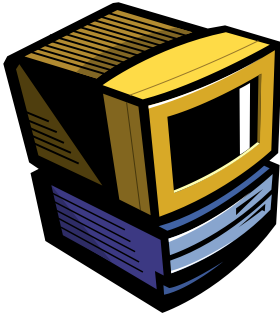


お問い合わせ

大阪市立大学大学院都市共生社会研究分野

URL: <http://www.co-existing.com>, E-mail: info@co-existng.com

Tel: 090-4768-5145 (坂口)



図や写真の説明を記入します。

記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製

品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

「印象に残るような文章を読者の目を引くよう、記事の中から選びここに記入します。」

記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。



図や写真の説明を記入します。

記事の見出し

ここに記載する記事は370文字から500文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さにします。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

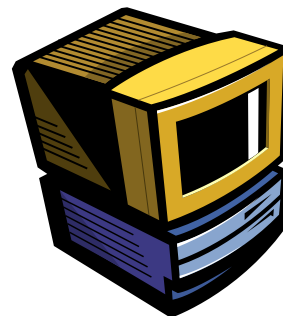
ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製

品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

ニュースレターに載せる記事は、そのままホームページにすることもできます。Microsoft Publisher には、ニュースレターをホームページに簡単に変換する機能が用意されています。



図や写真の説明を記入します。

記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さにします。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。

「印象に残るような文章を
読者の目を引くよう、記事
の中から選びここに記入し
ます。」

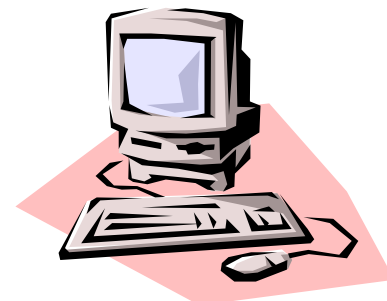
記事の見出し

ここに記載する記事は 370 文字から 500 文字程度の長さにします。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。



図や写真の説明を記入します。



大塚製菓株式会社
東京営業部
〒100-0001

ビジネス1の住所

住所2行目

電話 00(5555)5555

FAX 00(5555)5555

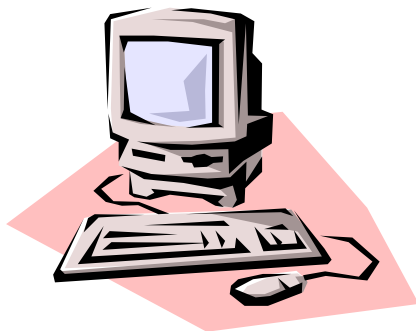
Email: someone@example.com

ここには会社の業務内容、モットー、社歴などについて紹介する文章を記入します。取り扱っている製品やサービスのリスト、主催するイベントのリスト、支店の所在地、これまで取り引きがあった顧客や会員にどんな人がいるかなどを紹介するのもよいでしょう。

問い合わせを受け付ける電話番号を明記しておくことで読者が会社についても詳しく知りたいときどこに問い合わせたらよいかすぐに分かるので便利です。

ホームページもご覧ください。
example.microsoft.com

キャッチコピーを入力します



図や写真の説明を記入します。

記事の見出し

ここに記載する記事は370文字から500文字程度の長さになります。

ニュースレターを販売促進のツールとして利用する利点は、新聞発表、市場調査報告、各種報告書など別のマーケティング資料から情報を再利用できることです。

ニュースレターの第1の目的は、製品やサービスを売り込むことですが、ニュースレターを成功させるためにはいかに読者の役に立つ情報を提供できるかが鍵となります。

読者の役に立つ情報には、自分の手で記事を書き、イベントの開催予定や新製品の試供品提供などの情報などがあります。

記事の内容を決めるには、インターネットのホームページを利用して探したりすると良いでしょう。いろいろな話題を数多く取り上げる場合は、各記事の内容を簡潔にまとめて短かくするように心がけてください。